

今回の数字

76,544 人

作成日：平成 26 年 5 月 19 日
 作成元：坂井市役所 企画情報課
 TEL:0776-50-3013
 FAX:0776-66-4837
 MAIL:kikaku@city.fukui-sakai.lg.jp

～坂井市の将来は・・・～

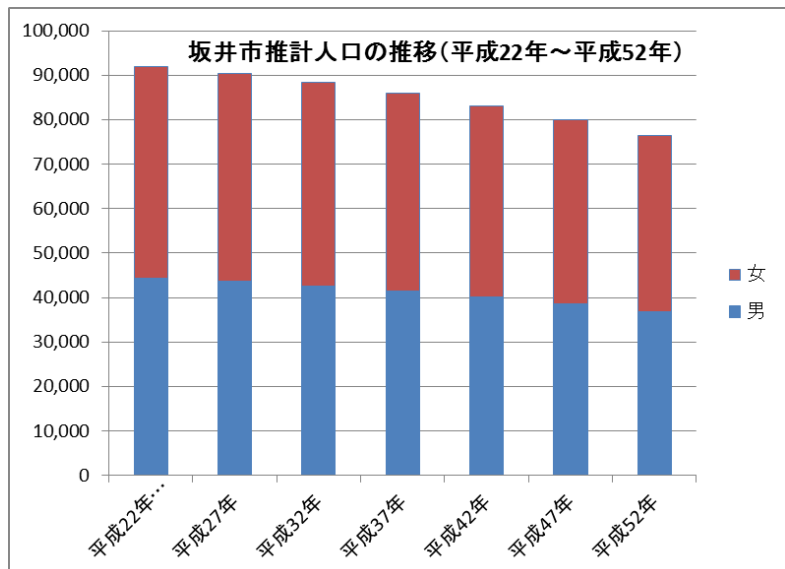
平成 22 年国勢調査の結果によると、坂井市の総人口は 91,900 人となっており、前回（平成 17 年）よりも 418 人減少していました。（平成 17 年は、92,318 人）

今回は、平成 22 年国勢調査の結果に基づいて、国立社会保障・人口問題研究所から、平成 25 年 3 月に公表された「日本の地域別将来推計人口」から、坂井市の推計人口についてご紹介します。この先の坂井市の人口は、どのように推移していくのでしょうか。

■坂井市の推計人口

推計年	平成22年 (国勢調査人口)	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年	平成52年
総人口	91,900	90,433	88,416	85,913	83,099	79,973	76,544
男	44,235	43,606	42,649	41,431	40,046	38,507	36,855
女	47,665	46,827	45,767	44,482	43,053	41,466	39,689

「日本の地域別将来推計人口（平成 25 年 3 月推計）」によると、坂井市の人口は、さらに減少を続けて、今から、26 年後の平成 52 年（2040 年）には、76,544 人となり、平成 22 年より、約 15,000 人も減少すると推計されています。また、男女の別に、推計人口の推移を詳しくみていくと、女性の方が、減少の割合が、高くなっていくようです。



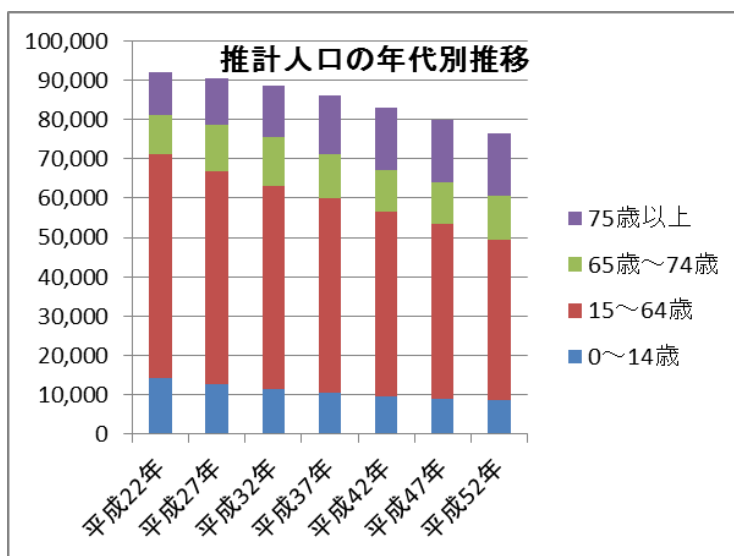
■推計人口の年代別推移

推計年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年	平成52年
総数	91,900	90,433	88,416	85,913	83,099	79,973	76,544
0～14歳	14,171	12,827	11,544	10,419	9,499	8,964	8,601
15～64歳	56,898	53,941	51,621	49,553	47,148	44,401	40,650
65歳～74歳	9,905	11,927	12,419	11,049	10,567	10,565	11,250
75歳以上	10,926	11,738	12,832	14,892	15,885	16,043	16,043

年代別の推移を表とグラフにしてみました。

グラフからもわかるとおり、0～14歳（年少人口）、15歳～64歳（労働力人口）は減少し、65歳以上（高齢者人口）が増加していることが分かります。

65歳以上の高齢者人口の割合は、平成22年では総人口の22.6%ですが、平成52年（2040年）には、35.6%と、坂井市の3分の1以上が65歳以上の高齢者になると予測されています。



資料：国立社会保障・人口問題研究所

■前回推計人口と国勢調査人口との比較

平成21年に発行された「さかい～統計情報館 Vol. 13」では、平成22年の坂井市の推計人口は、92,362人となり、これまでの最大になると予測されていました。

しかし、実際の平成22年国勢調査人口は、前述のとおり、91,900人となり、推計との比較では、△462人の差ができました。それでは、前回の推計人口と実際の国勢調査人口との差の原因は、どこにあったのでしょうか。

平成22年の前回推計人口と実際の国勢調査人口を年齢階級（5歳毎）で比較してみました。

この表をみると、特に20歳～34歳の年齢階級で、前回推計人口と国勢調査人口との差が、特に大きくなっていることが分かります。従って、出生数の減少や高齢者の増加といった、いわゆる少子高齢化が、推計人口との差の原因ではないようです。

前回推計人口と国勢調査人口（平成22年）

年齢階級	平成22年 （前回推計人口）	平成22年 （国勢調査人口）	推計との差
総人口	92,362	91,900	△ 462
0～4歳	4,203	4,175	△ 28
5～9歳	4,591	4,709	118
10～14歳	5,260	5,287	27
15～19歳	4,718	4,741	23
20～24歳	4,466	4,142	△ 324
25～29歳	5,057	4,673	△ 384
30～34歳	5,746	5,535	△ 211
35～39歳	6,805	6,782	△ 23
40～44歳	5,911	5,907	△ 4
45～49歳	5,930	5,934	4
50～54歳	5,832	5,803	△ 29
55～59歳	6,343	6,339	△ 4
60～64歳	7,020	7,042	22
65～69歳	5,413	5,419	6
70～74歳	4,430	4,486	56
75～79歳	4,207	4,306	99
80～84歳	3,393	3,475	82
85歳～	3,037	3,144	107

資料：国立社会保障・人口問題研究所

※国勢調査人口は、基準人口（年齢不詳者は按分）

そこで、特に差が大きかった 20 歳～34 歳である人たちに焦点をあてて、詳しくみてみたいと思います。

前回調査が実施された、平成 17 年の時は、この人たちは、15 歳～29 歳でした。この 5 年間の人口の比較をしてみました。

年齢階級	国勢調査人口 (平成17年)	年齢階級	国勢調査人口 (平成22年)	増減
15～19歳	4,970	20～24歳	4,142	△ 828
20～24歳	4,466	25～29歳	4,673	207
25～29歳	5,572	30～34歳	5,535	△ 37
15歳～29歳計	15,008	20歳～34歳計	14,350	△ 658

資料: 国立社会保障・人口問題研究所

※国勢調査人口は、基準人口(年齢不詳者は按分)

推計では、20 歳～34 歳の人口は、15,269 人と見込まれ、平成 17 年の 15 歳～29 歳人口 (15,008 人) から、261 人増加すると予測されていました。しかし、実際には、平成 22 年の 20 歳～34 歳の人口は、14,350 人となったため、658 人減少しました。転入者が転出者を上回るという推計でしたが、反対に転出者の方が多かったようです。特に、20 歳～24 歳の年齢階級での減少が大きくなっています。これは、この年齢階級の方は、この 5 年間に進学や就職の時期を迎えるため、県外などへ転出する人が多かったのではないかと予想されます。

■坂井市の社会動態の推移

では、実際の社会動態(転入者・転出者数)がどのように推移したのか、福井県が毎年公表している「福井県の推計人口(年報)」から平成 11 年～平成 25 年までの過去 15 年間の坂井市を表にしてみました。

この表によると、前回の推計人口が計算された、平成 18 年次までは転入者数が転出者数を上回っていたことが分かります。しかし、平成 19 年次以降は、平成 24 年を除き、転出者数が転入者数を上回っています。

前回の国勢調査から今回までの期間である平成 17 年 10 月～平成 22 年 9 月末までの転入者の合計は、13,156 人、転出者は 13,660 人と転出者の数が 504 名上回っています。

坂井市の近年の社会動態の変化が、増加すると推計された人口が、実際の結果は、減少していた原因の一つとなっているようです。

坂井市の社会動態 (前年10月1日～9月30日)

年次	社会動態		
	転入	転出	転入 - 転出
平成11年	3,252	2,788	464
平成12年	3,588	2,946	642
平成13年	3,421	3,009	412
平成14年	3,234	3,091	143
平成15年	3,235	2,957	278
平成16年	3,124	2,952	172
平成17年	3,096	3,057	39
平成18年	2,755	2,667	88
平成19年	2,756	2,792	△ 36
平成20年	2,686	2,805	△ 119
平成21年	2,599	2,853	△ 254
平成22年	2,360	2,543	△ 183
平成23年	2,546	2,581	△ 35
平成24年	2,351	2,350	1
平成25年	2,389	2,592	△ 203

資料: 福井県の推計人口

★今回の数字の答え★: 坂井市将来推計人口(平成 52 年) 国立社会保障・人口問題研究所

『日本の地域別将来推計人口(平成 25 年 3 月推計)』